

平成19年度 病害虫発生予察情報

発生予報第8号（8月）

平成19年8月2日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量			
普通作物	イネ	穂いもち	平年並			
		紋枯病	平年並			
		白葉枯病	平年並～やや多い			
		ニカメイチュウ	少ない			
		ツマグロヨコバイ	平年並			
		セジロウンカ	平年並			
		トビイロウンカ	やや多い			
		コブノメイガ	多い			
		カメムシ類	やや多い			
		果樹	ダイズ	ハスモンヨトウ	やや多い	
				ナシ	黒斑病	平年並
				シンクイムシ類	やや多い	
				ハダニ類	やや少ない	
カメムシ類	やや少ない					
カキ	カキ	うどんこ病	平年並			
		カキミガ	平年並			
		カメムシ類	やや少ない			

中国地方1か月予報（7月28日～8月27日・広島地方気象台7月27日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

気温	30%	40%	30%
降水量	30%	40%	30%
日照時間	30%	40%	30%
	低い(少ない)	平年並	高い(多い)

防除所ではいもち病、水稻ウンカ類、コブノメイガ、果樹カメムシなどの最新情報をホームページ上に掲載しています。

アクセスはこちら <http://www.jpnpn.ne.jp/shimane/>

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方

全域

発生量

平年並

予報の根拠

① 7月第5半旬に行った定点（70圃場）調査における葉いもちの発生量は発生圃場率17.1%（平年50.9%）、発病株率3.9%（平年32.9%）と、平年に比べてやや少ない。

また、上記圃場を含めた県内360圃場における葉いもちの発生状況は、一部地域で発病程度の高い圃場が散見されるなど、穂いもちの発生が少なかった昨年、一昨年の同期と比較してやや多い。しかし、穂いもちが多発生した平成15、16年の葉いもち発生量と比べるとやや少ない（次頁表参照）。

② 7月23日、30日にBLASTAMによる感染好適日が県下各地で高頻度に出現し、潜伏感染が見込まれる。

- ③稲の生育はやや遅れており、罹病的な期間は平年に比べてやや長いと推察される。
④8月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

表 近年の葉いもち発生状況（7月下旬調査）と穂いもち発生量

年次	場所	調査圃場数	葉いもち発生圃場率	葉いもち発病株率	葉いもち発病度	穂いもち概評	穂いもち被害面積率
平成19年	県東部	230	13.9 %	3.6 %	0.9		
	県西部	130	20.8	8.1	1.9		
	県全体	360	16.4	5.2	1.3		
平成18年	県全体	360	6.4	1.7	0.5	少	0.2 %
平成17年	県全体	360	3.3	0.9	0.2	少	0.1
平成16年	県全体	360	70.0	46.5	13.5	やや多	10.9
平成15年	県全体	355	49.3	23.5	6.8	多	36.0

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方 全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ①7月25日下旬の定点調査における発生圃場率は30.0%（平年46.7%）、発病株率は6.7%（平年8.8%）で、全般の発生量はほぼ平年並みである。
②8月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) 白葉枯病

予報内容

発生地方 常習発生地
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①全般の発生量はほぼ平年並みである。
②5月以降の積算降水量は平年に比べてやや多い。
③8月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) ニカメイチュウ（第2世代）

予報内容

発生地方 全域
発生時期 平年並
（発蛾最盛期）
発生量 少ない

予報の根拠

- ①7月下旬の巡回調査では、被害株率、発生圃場率ともに平年に比べて少ない。
②フェロモントラップでの雄成虫の誘殺は平年に比べて少ない。
③8月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

(5) ツマグロヨコバイ

予報内容

発生地方 全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ①予察灯での誘殺数は平年並みである。
②7月下旬の巡回調査では寄生虫数20.6頭/50株（平年28.9頭）は平年並み、発生圃場率82.8%（同71.3%）は平年に比べてやや高い。
③8月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

(6) セジロウンカ

予報内容

発生地方 全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ①予察灯及び粘着誘殺灯での誘殺数は平年並みである。
②7月下旬の巡回調査では寄生虫数112.0頭/50株（平年111.8頭）、発生圃場率89.7%（平年80.6%）ともに平年並みである。
③8月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

(7) トビイロウンカ

予報内容

発生地方

全域

発生量

やや多い

※ウンカ情報No. 3(7/31)を参照

予報の根拠

- ① 予察灯での誘殺数は平年に比べてやや多く、飛来ピークは7月第1半旬である。
- ② 7月下旬の巡回調査では0.2頭/50株(平年1.9頭)、発生圃場率3.4%(平年12.0%)で平年並みである。
- ③ 8月の気象は本虫の発生を特に抑制する要因とはならない。

(8) コブノメイガ

予報内容

発生地方

普通期栽培地帯

発生量

多い

※コブノメイガ情報(7/31)を参照

予報の根拠

- ① 飛来は現在まで断続的に認められているが、主要な飛来波は7月4～6日で、飛来量は平年に比べてやや多い。
- ② 7月下旬の巡回調査では被害株率24.3%(平年1.5%)、発生圃場率82.6%(同22.9%)は平年に比べて多い。
- ③ 次世代成虫は8月第2半旬から発生し、発蛾最盛期は8月10日前後と考えられる。
- ④ 8月の気象は本虫の発生を特に抑制する要因とはならない。

(9) 斑点米カメムシ

予報内容

発生地方

全域

発生量

やや多い

予報の根拠

- ① 7月下旬の出穂圃場でのすくい取り調査では、カメムシ類合計で5.1頭/20回振、調査した59%の圃場で捕獲され、発生量、発生圃場率ともにやや多い。(昨年同期:10.5頭/20回・70%)
- ② アカスジカスミカメの予察灯(出雲市)への累積誘殺数は146頭で平年に比べてやや多い。(平年107.6頭、昨年289頭)
- ③ 8月の気象は本虫の発生を特に抑制する要因とはならない。

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方

全域

発生量

やや多い

予報の根拠

- ① フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺累積数は平年比187.1%とやや多い。
- ② 7月下旬のダイズ圃場調査では発生を確認していない。
- ③ 8月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方

ナシ(二十世紀)栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査での発病葉率は17.9%で平年並みである(平年18.6%)。
- ② 8月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) シンクイムシ類

予報内容

発生地方

ナシ栽培地帯

発生時期

やや遅い

発生量

やや多い

予報の根拠

- ① 予察圃場(安来市・出雲市)のフェロモントラップでのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺盛期はやや遅く、誘殺数はやや多い。
- ② 8月の気象は発生を特に抑制する要因とはならない。

(3) ハダニ類

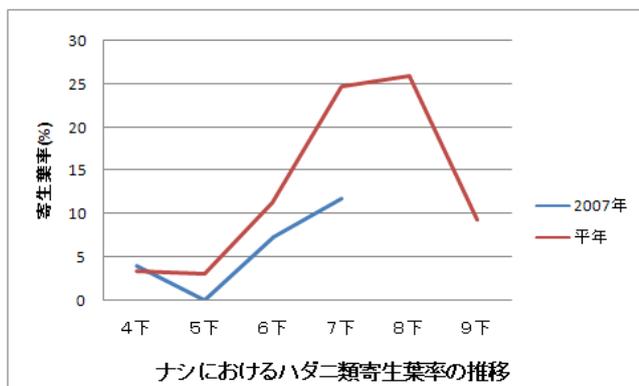
予報内容

発生地方 ナシ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査では、寄生葉率は11.7%（平年値24.8%）とやや低く、寄生虫数も14.6頭/50葉（平年84.0頭/50葉）とやや少ない。
- ② 8月の気象は発生を特に助長的する要因とはならない。



(4) カメムシ類

予報内容

発生地方 ナシ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 予察圃場（出雲市）のフェロモントラップ及び予察灯でのカメムシ類の誘殺数は50頭（平年907.6頭）とやや少ない。
- ② 8月の気象はカメムシ類の発生を特に助長する要因とはならない。

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月下旬の巡回調査での発病葉率は6.8%で平年並みである（平年8.5%）。
- ② 8月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) カキミガ（第2世代）

予報内容

発生地方 カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

- ① 第1世代幼虫による芽および果実の被害は平年並みであった。
- ② 8月の気象は発生を特に助長する要因とはならない。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 カキ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 予察圃場（出雲市）のフェロモントラップ及び予察灯でのカメムシ類の誘殺数はやや少ない。
- ② 7月下旬の巡回調査ではカメムシの被害果を確認していない。
- ③ 8月の気象はカメムシ類の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ）

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/shimane/>